

カタナ式 v6 「六本指」は、カタナ式をさらに進化させ、なんと「使用する指を六本にしぼった」配列である。たった六本の指で、五十音＋アルファ（拗音、濁音、半濁音、外来子音、句読点）が入力可能だって！？

カタナ式を知らない人は、「カタナ式 v5 裸足の絡み」をゲットし、使ってみてほしい。以下、カタナ式の知識がある人向けに書く。

カタナ式

物語を書くための配列

バージョン6 六本指

バージョン6 六本指 v6では、使用する指を人差し指と中指（計4本）と、右薬指、左親指に限定した。

両小指、左薬指、右親指は使用しない。その担当分を人差し指＋中指同時押しにバインドしたからである。

s + t | （長音） （元左薬指）

k + r m （元左薬指）

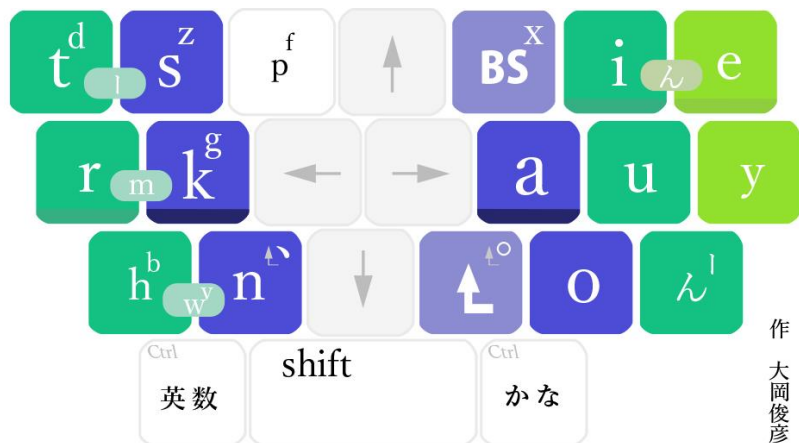
n + h w （シフトでv） （元左小指）

i + e ん （元右小指）

というのが、v5からの追加変更点だ。

このv6は、「v5としても使えるしv6としても使える」設定にしてある。普通に打てばv5のように使えるし、v6のように同時押しをしても使える方式だ。

v5で薬指や小指が疲れない人はそのままでもいいし、疲れる人ならv6にコンバートしてもいいし、疲労度に応じて都度使い分けてもOK！

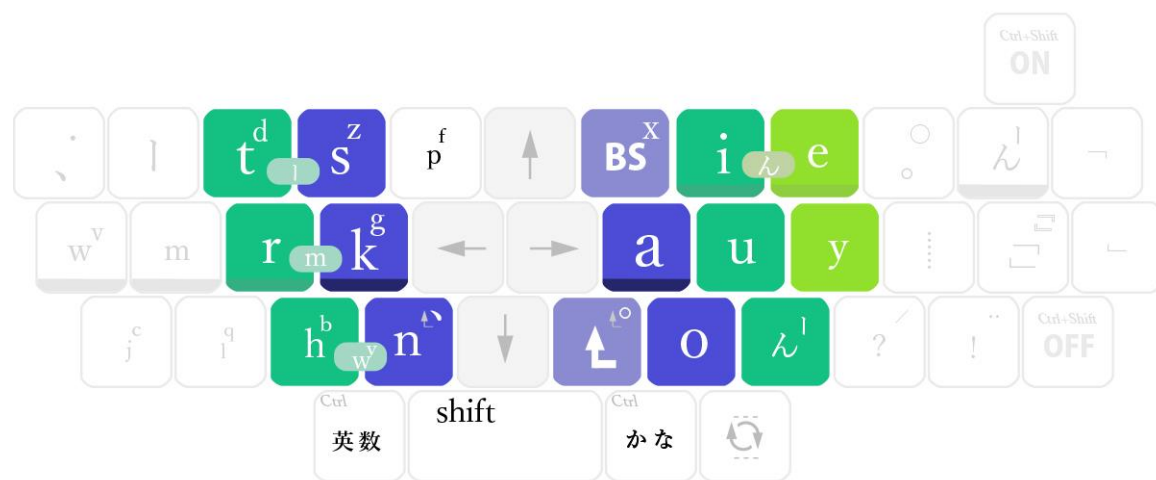


このバージョンを使用するには、「カタナ式 v6 六本指.txt」をゲット、v5の代わりに読み込ませること。また、DvorakJ の「待機と遅延」の設定を変更し、同時押しを認識しやすいように設定してほしい（ちなみに僕は「日本語入力」10ミリ秒、「キーを発行する際に」5ミリ秒に設定しているが、お使いのマシンで差があるので色々試すこと）。

また、動作を軽くするため、「修飾キー関連／独自のショートカットキー」の設定はオフが推奨（無変換・変換キーにバインドしたショートカットを、コントロールキーでも使うための設定なので、無変換・変換しか使わないなら外してOK）。

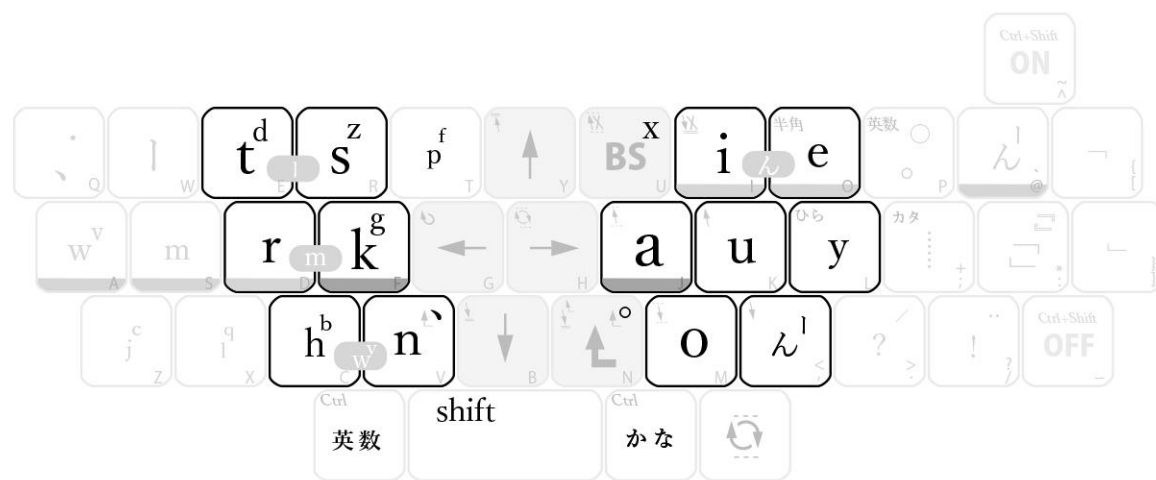
次頁に、v6とv5の重ね合わせた図を示して、本マニュアルは終了。

物語を書くための配列
カタナ式 作 大岡俊彦
バージョン6 六本指



カラー版

物語を書くための配列
カタナ式 作 大岡俊彦
バージョン6 六本指



モノクロ版

シヨートカット、
QWERTY 併記